

Q

大雪被害農家救済に市の単独支援が必要である

A

国・県の支援制度を適用する今その考えはない

田島 信吉

Q

ごみ削減、さらに推進していくためには

A

資源物の分別回収の徹底等力をいれる

五間くみ子

問 大雪による農業被害は甚大かつ深刻である。離農や意欲の低下が懸念される。被害農業者への国・県の支援策も示され、倒壊ハウスの撤去は国・県・市の助成で農家負担は無くなり再築は国・県・市の助成合わせて90%の助成となった。しかし、農作業所や生産資材倉庫等の倒壊は被害額が高額であってもハウスのような助成措置からの除外が予測されている。また、市はハウス内の作物や露地野菜と花き類、種苗等の被害額は約50億円に達すると推定している。県の支援制度を適用し、次期作の種苗類の購入費等の助成は行いが、作物等補償の途はない。こうした制度から外れた被害損失については市独自の支援制度を創設し最大限の措置が必要である。

答 国の支援策や県の農業災害対策特別措置条例の適用が決まった。今のところ細部は説明されていない。市も財政的に相当な負担となることから、この制度で適用されないものや、作物の減収補償等について、市単独助成等を行う考えはない。



問 協働の事業について 事業の現状及び推進上の課題は何か、市民をはじめ広範に協働事業としての参画を要請すべきと考える。

問 深谷市一般廃棄物処理基本計画におけるごみ排出抑制と再資源化の目標値に対する市の現状は。

答 プラを資源化することが課題であると基本計画策定時にすでに記載している。分別品目を増やすことについては、①廃プラの資源化の課題として、②分別回収の市民負担が生じること③分別収集・処理費が高額になること等があるが、重要課題と認識している。分別品目を増やすには、収集体系の再編成や大里広域での協議等必要であるが、平成27年度に収集の委託契約が終了することもあり、同時期をめざし検討していきたい。

答 ガーデンシティや見守りネットワーク事業等がある。市民への十分な啓発、体系的な牽引や把握などの調整機能が弱いなどの課題がある。協働推進部が設置されることから、市民活動を拡大し一層の推進を図る。

答 野菜の産地であることや草、剪定枝などが多く含まれていることも考えられるが、小型家電の回収が試験実施であること、リサイクル品目にプラスチック容器が含まれていないことなども要因と考えられる。

問 排出抑制には資源化率向上が必須であり、小型家電のリサイクルの本格実施や雑紙等の分別の徹底により数値が上がるよう努めてまいりたい。



Q

大雪、農畜産被害にかかれた、その他被害を問う

A

全体の調査はしていない(り災証明提出範囲)

加藤 温子

Q

アウトレットをどう農業振興に結び付けるのか

A

年間650万人の集客力を活用する

村川 徳浩

問 大雪による公民館利用者への対応。 12館中、15日朝から休館7館、夜休館3館。16日朝から休館6館、夜休館2館。各公民館長の判断による。除雪作業及び利用振替、キャンセル返金等、職員とシルバー人材で対応。

問 循環型農業推進事業、8軒分約2億円の予算、バイオマス燃料の考えは。

問 アウトレットは手段で目的は観光と農業振興だということなら具体策を先に示すべきでは。

答 土地を買い取りにした場合の初期投資金額や地権者の同意の可能性を勘案し賃貸借方式で進めようと考えている。

問 自治会への対応は。 除雪協力、被害状況把握依頼はしていない。各自治会全体調査はしていない。り災証明発行(窓口に資産税課)は全壊28件、半壊80件、車庫94件。

問 食品残さ、生ごみ、家畜ふん尿等のバイオマス燃料活用は、諸条件及び実現性が高まった際、導入を検討する。

問 アウトレットの目的が農業振興ならば、今回予算計上された産業拠点推進事業の1億1900万円は農家の不公平感を考えるとビニールハウスに対する救済策から漏れてしまった農家のために使うべきでは。

答 富山県の小矢部市では特別委員会を設置している。ありがたい話だ。

問 JR高崎線運休での帰宅困難者対応は11名、深谷駅ギャラリー及び岡部総合支所にて受け入れた。

問 2市1町広域で1日530トン焼却。平成31年度まで発電施設計画ない。

答 復興と振興は比較すべきではなく優先順位や優劣はつけられない。深谷市の将来のために必要なアウトレット計画を具体的に示すために必要な予算計上である。ビニールハウスは産業基盤でこれがないと失業したのと同じである。深谷市としては全力で大雪被害に対応していく。

原発にかわる創エネルギーは 国は原発を重要電源、自治体は太陽光等自然エネルギーを伸ばす姿勢、深谷市の現状と今後は。

答 平成25年12月末で12施設・112キロワット。平成26年10月1日発電開始予定、浄化センター大規模太陽光年間発電量約169万8千キロワットアワー。20年間発電設備設置(約



消防本部 太陽光パネル付屋根



「議会あれこれ」議会本会議を傍聴してみませんか?」...傍聴を希望される方は市役所3階議会傍聴席までお越しください。次回の定例会の日程は最終ページのとおりで。<